

# 委員会の審査

## 予算決算常任委員会

12月5日開催、委員17名出席  
付託された事件は、議案5件  
◆審査の経過及び結果  
議案第1号

繰越明許費、債務負担行為補正  
社会保障・税番号制度システム整  
備費補助金、転入者マイホーム取  
得奨励金交付事業、つどいの広場  
事業、飼料用米等拡大支援事業、  
ふれあい公園維持管理費、アリー  
ナ管理費などに関する質疑があり、  
賛成多数で原案のとおり可決する  
ものと決した。

議案第2号  
一人あたりの保険料、収入未済額  
不納欠損額などに関する質疑あり、  
賛成全員で原案のとおり可決する  
ものと決した。

議案第3号  
保険料などに関する質疑があり、  
賛成全員で原案のとおり可決する  
ものと決した。

議案第4号  
級別職員数などに関する質疑が  
あり、賛成全員で原案のとおり可  
決するものと決した。

議案第5号  
入院収益、他会計補助金など  
に関する質疑があり、賛成全員  
で原案のとおり可決するものと  
決した。

## 総務常任委員会

12月6日開催、委員6名全員出席  
付託された事件は、議案5件  
◆審査の経過及び結果  
議案第7号

選挙運動用ビラの作成枚数に関  
する質疑があり、賛成全員で原案  
のとおり可決するものと決した。

議案第8号

人事院勧告等に伴う給料及び勤  
勉手当の引き上げ額に関する質疑  
があり、賛成全員で原案のとおり  
可決するものと決した。

議案第9号

質疑はなく、賛成全員で原案の  
とおり可決するものと決した。

議案第10号

常勤特別職の給与の減額措置に  
関する質疑があり、賛成全員で原  
案のとおり可決するものと決した。

議案第12号

国民健康保険税の資産割廃止に  
伴う国保財政推計、国民健康保険  
税と国民健康保険料の相違点、国  
民健康保険税率の近隣市との比較  
などに関する質疑があり、賛成全  
員で原案のとおり可決するものと  
決した。

○委員会終了後、匣瑛市横芝光町  
消防組合消防本部及び匣瑛消防  
署を視察した。

## 文教福祉常任委員会

12月7日開催、委員6名全員出席  
付託された事件は、議案6件  
◆審査の経過及び結果  
議案第6号

利用可能店舗や手数料、利用方  
法やセキュリティなどに関する質  
疑があり、賛成多数で原案のと  
おり可決するものと決した。

議案第11号

改正点や所得申請、進学準備給  
付金における専門学校の種類と範  
囲基準に関する質疑があり、賛成  
全員で原案のとおり可決するもの  
と決した。

と決した。  
議案第13号

同等の規模の東陽病院との比  
較などに関する質疑があり、賛  
成全員で原案のとおり可決する  
ものと決した。

議案第14号

質疑はなく、賛成全員で原案  
のとおり可決するものと決した。

議案第15号

放課後児童支援員の人数や資格  
児童クラブの児童受け入れなど  
に関する質疑があり、賛成全員  
で原案のとおり可決するものと  
決した。

議案第16号

家庭的保育事業所や今回の改  
正における基準の緩和点などに  
関する質疑があり、賛成全員で  
原案のとおり可決するものと決  
した。

○委員会終了後、松山庭園美術  
館を視察した。

## 産業建設常任委員会

12月10日開催、委員6名全員  
出席  
付託された事件は、陳情1件  
◆審査の経過及び結果  
陳情第1号

主要農作物種子法廃止の経緯  
などに関する意見が出され、賛  
成全員で本会議において採択す  
べきものと決した。  
○委員会終了後、天神山公園を  
視察した。

# 12月定例会 市政に関する一般質問

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針等を  
ただすものです。

12月定例会では、12月12日、13日に一般質問が行われ、通告順  
に7名の議員が質問に立ちました。主な質問と答弁を要約し、掲  
載しました。

なお、質問・答弁の詳細は「匣瑛市議会会議録」をご覧ください。

## 公共交通

林明敏議員（市民クラブ）

問 八日市場駅南改札口設置  
への取り組みは。

答 【市長】 改札口の設置  
要望については、千葉県J  
R線複線化等促進期成同盟  
を通じて、平成23年度から  
毎年継続して、JR東日本  
に要望を提出している。J  
R東日本では、県内自治体  
からの施設整備に係る要望  
に対して、利用状況や収支  
の状況に見合った施設内容  
施設規模にしていかがざるを  
得ないとしている。さらに  
総武本線佐倉駅より東側の  
駅にかかわる要望を実現さ  
せるためには、自治体の財  
政負担が必要としている。

問 市で南側改札口職員の人  
件費を負担するという提案を  
してはどうか。

答 【都市整備課長】 JR  
東日本は、南口設置は困難と  
いうことで、職員の賃金負担  
の協議は困難と考える。

環境

林明敏議員（市民クラブ）

問 再生土の規制について、  
地元並びに土地改良等から再  
三要望が出され、恵まれた環  
境を守っていかねばなら  
ない。今後の市の対応は。

答 【市長】 本年9月の県  
議会において、千葉県再生  
土の埋め立て等の適正化に  
関する条例を可決し、制定  
している。新たな県条例では、  
規制の効果について懸念さ  
れる点が見受けられるので、  
県条例の適用を除外して市  
の条例による規制を視野に  
入れ、早急に結論を出した  
いと考えている。

## 財政

宮内康幸議員（新政会）

問 新年度予算編成で特に留  
意すべき点など、各課への  
指示はどのように行われたの  
か伺う。

答 【財政課長】 新年度の編  
成については、昨年度よりさ  
らに厳しいことは十分認識を  
しており、予算編成方針の説  
明会において、状況を説明し  
継続事業であってもゼロペー  
スの見直しを指示している。  
また予算編成方針要領の中で、  
枠配分方式の継続、スクラッ  
プ・アンド・ビルドを徹底す  
るよう強く指示し、歳出予算  
の抑制に努めている。

問 枠配分予算とすることで、  
どのような効果が期待できる  
のか伺う。

答 【財政課長】 歳入の確保  
が難しい現状においては、当  
然歳出の拡大は見込めないと  
ころであり、枠配分予算とす  
ることで、予算査定において  
経常的経費の一律削減という  
ことが可能となり、各部署に  
おける削減率のばらつきを無  
くすることができ。また、安  
易な経常経費の拡大の抑制に  
もつながらるものと考えている。  
更に、事業の新設や拡大に当  
たっては、当然枠の中で、ス  
クラップ・アンド・ビルドを  
原則としており、各課の創意  
工夫により、経費の削減が期  
待できると考えている。  
※スクラップ・アンド・ビルドとは  
膨張抑制の方法の一つ。新設  
にあたっては、同等の廃止を  
条件とすること。

教育

武田光由議員（公明党）

問 教育環境の整備について

答 【教育長】 国の補正予算  
において全国の公立小・中学  
校の各教室へ空調を設置する  
ための臨時特例交付金が、本  
年度限りで創設された。本市  
も近隣市町の動向も踏まえた  
結果、この補助金を活用し市  
内全小・中学校の普通教室に  
エアコンを設置する要望を国  
に行い、工事費を3月補正に  
計上する予定でいる。

完成時期については、夏ま  
での設置が理想であるが、全  
国の市町村で一斉に実施する  
ことが見込まれることから、  
完成時期は不確定と言わざる  
を得ない。できる限り早期に  
設置できるよう努力してまい  
りたい。

問 都祭広一議員（創真の会）

問 文部科学省の検定や無償  
措置を受けず、一般の人が購  
入できない副教材が学校で使  
用されている現実をどう考え  
るか。

答 【教育長】 選定は、各校  
担当が行い校長承認のもと  
採用している。必要性を十分  
検討するよう指導している。

問 副教材の費用負担額は。

答 【学校教育課長】 およそ  
1万円前後を家庭で負担して  
いる。

問 社会科学資料集の近現代史  
の中で、成長段階における子  
どもたちにとって、内容的に  
どうかという部分がある。状  
況把握は。

答 【学校教育課長】 教材の  
選定は各学校で校長が承認し、  
これを受け教育委員会が承認  
となる。頂いた意見は、校長  
会議で周知する。

問 人口流出を防ぐためにも  
地域と連携した高校生を取り  
組みを推進し地域社会を支え

る人材を育成する必要がある  
と考える。どのような取り組  
みを行っているか。実現して  
いくのか。

答 【市長】 平成28年度から、  
高校生との意見交換会を実施し、  
匣瑛市を魅力あるまちにする  
ため提案を頂いた。平成29年  
度に創設した市民提案型事業  
助成金交付制度で、将来も住  
み続けたいまちに向けた高校  
生自らの活動等を支援し、ま  
ちづくりへの参画意識の醸成、  
参画機会の充実等に努めたい。

公共施設

武田光由議員（公明党）

問 公共施設のWiFi設  
備について。

答 【市長】 WiFi環境  
の整備は、災害時における通  
信手段の確保、外国人観光客  
の誘致、市民の利便性の向上  
など、安心・安全かつ快適な  
市民生活を実現するための情  
報通信基盤として大きな役割  
を果たすものと考えている。  
こうしたことから、平成31  
年度に市役所、野栄総合支所  
等8施設、平成32年度には、  
避難所に指定している小・中  
学校体育館等14施設のWiFi  
Fi環境を整備すべく事業計  
画を策定した。

## 学校給食

田村明美議員（日本共産党）

問 学校給食センターは調理  
員の確保が難しいので調理業  
務委託を行うというが、学校  
給食甲子園優勝（野栄学校給  
食センター）の努力と実績を  
投げ捨て、市・教育委員会の  
責任回避で問題ないか。

答 【学校教育課長】 市では  
調理員を余剰雇用できない。  
突然の休暇に対応が難しい面